

# 行政の窓

## 林野庁の平成28年度補正予算・平成29年度当初予算について

平成29年度林野庁予算は、平成28年12月22日付けで概算決定が発表され、概算決定額は、2,956億円（対前年度比100.8%）となりました。これにより、同年8月に措置された平成28年度第2次補正予算額1,022億円を合わせると3,978億円となり、比較対象となる平成27年度補正予算額＋平成28年度当初予算額の3,525億円を453億円上回る予算規模となりました。

### 《平成28年度補正予算 主要事項の概要》【川下関連を主とするもの】

事業等名	対策のポイント	政策目標	主な内容
CLT利用促進総合対策 (1,000百万円) ※国全体の予算額	CLTを活用した先駆的な建築に関する実証的な取組等への支援やCLT等木材流通加工施設の整備を行いCLTの加速的普及を推進	国産材の供給・利用量の増加 ＜2,400万m <sup>3</sup> (H26) →3,200万m <sup>3</sup> (H32)＞	1. CLT建築物等普及促進事業 2. 合板・製材生産性強化対策のうち木材加工流通施設整備 ※33,000百万円の内数
合板・製材生産性強化対策事業 (33,000百万円) ※国全体の予算額	生産性向上等体質強化のための合板・製材工場等の整備と原木を安定的に供給するための間伐材の生産及び路網整備等を一体的に推進	国産材の供給・利用量の増加 ＜2,400万m <sup>3</sup> (H26) →3,200万m <sup>3</sup> (H32)＞	1. 木材加工流通施設等整備 2. 間伐材生産・路網整備等

### 《平成29年度予算 主要事項の概要》【川下関連を主とするもの】

事業等名	対策のポイント	政策目標	主な内容
次世代林業基盤づくり交付金 (7,010百万円) ※国全体の概算決定額	需要に応じた低コストで効率的な木材の生産・供給、木材利用の拡大を実現するため、CLT等を活用した木造公共建築物の整備等により需要拡大を図るとともに、木材加工流通施設、苗木生産施設等の整備、間伐材生産・路網整備などを総合的に支援	国産材の供給・利用量の増加 ＜2,400万m <sup>3</sup> (H26) →4,000万m <sup>3</sup> (H37)＞	1. 次世代木材生産・供給システム構築事業 ・用途別の需要に的確に対応できる木材のサプライチェーンを構築するための路網整備、間伐材の伐倒・搬出を推進 2. 森林・林業再生基盤づくり交付金 ・CLT等を活用した木造公共建築物やバイオマスの供給・利用を促進する施設の整備 ・地域材を利用した木材加工流通施設の整備 ・高性能林業機械の導入、特用林産物の生産基盤の整備、コンテナ苗の生産施設の整備 3. 林業成長産業化地域創出モデル事業 ・地域の森林資源の利活用により、雇用や経済価値を生み出す地域を「林業成長産業化地域」として指定し、ソフト面と施設整備を重点的に支援 ・国有林において民有林と連携した供給先確保の取組と併せて、ICTを活用した森林資源情報の整備技術を実証・普及
新たな木材需要創出総合プロジェクト (1,218百万円) ※国全体の概算決定額	木材利用が低位な都市部の建築物等における木質化を推進するためのCLT等の製品・技術の開発・普及や、建築物・木製品・木質バイオマスなど様々な分野での新たな木材需要を創出するとともに、地域材の安定的・効率的な供給体制を構築	国産材の供給・利用量の増加 ＜2,400万m <sup>3</sup> (H26) →4,000万m <sup>3</sup> (H37)＞	1. 都市の木質化等に向けた新たな製品・技術の開発・普及 2. 地域材利用促進 3. 地域材の安定供給対策

※詳細については、次の林野庁HPをご参照ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/28-2hosei.html>

(平成28年度補正)

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/29kettei.html>

(平成29年度当初)

(水産林務部 林務局 林業木材課 林業木材グループ)